

《報告》

認知症看護教育研修報告  
—当事者視点から考える認知症看護の目標作り演習を実施して—

大嶋 光子, 又吉 忍

椋山女学園大学看護学部看護学科

要 旨

2011年9月12日、10月28日の2日間、A県看護協会主催の「認知症看護研修」を実施した。参加者は日本看護協会のジェネラリストのためのクリニカルラダーをもとにしたレベルⅡ、レベルⅢの看護師170名であった。1日6時間の研修は演習を中心に行われた。演習では医療者から当事者に視点を変えることで、認知症をもつ患者の訴えが理解できた。受講者は21のグループにわかれ、3つの演習技法を使い、それぞれの看護目標を作成した。研修を通し、人権の尊重、愛情をもって看護することの大切さを考えることができた。認知症看護の研修においては演習を中心に行うことで意欲が高まると考える。

キーワード：認知症, 当事, 演習技法